

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和3年9月8日

公表:令和3年9月12日

事業所名 ワンツージョイ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		密を避けるため個別指導など調整	コロナ禍においては今後も状況に対応していく
	2 職員の配置数は適切である	○		母子分離の際には十分な職員配置	摂食指導なども積極的に行っています
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		利用する子供達には使いやすさを	個々の成長や動きに合わせて工夫していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日頃から清掃と環境整備に努め	コロナ禍で清掃、アルコール消毒、手洗いなど
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	○		日々気づきノートなどで共有	その場にはいない職員にもカンファレンスあり
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		現状の評価を参考により良くします	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		全ての利用者とLINEやFBで公開	今後はHP等でも利用者以外にも公表
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		第三者評価は予算などの都合で	予算に見通しがつけば外部評価も検討する
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月各種研修会や会議を行っています	
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		子供の成長と保護者と話し合い	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		独自プログラムで評価	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		特に支援を分けて明示してない	相談支援従事者がいるので今後検討してます
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		独自プログラムで毎月作成	ダウン症児には細かな支援計画が必要です
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		プログラムは全ての職員が熟知	毎月プログラムミーティングあります
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		独自プログラムは150以上かな制	毎月個々の成長にあったプログラム作成
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別・集団と意識して時間調整	個々の成長や動きに合わせて工夫していく
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		早朝ミーティングで内容など確認	その日のリーダーを中心に活動内容配慮する
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○		全体日記などで職員と全情報を共有	その日気づいた事を個々の気づきノートに記入
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録ノートは必ずりと確認	保護者からのノートを日々確認して返信してます
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		毎月個別指導計画を作成	毎月個別指導計画を保護者に説明してます